



校長だより



# 日中丸



第 15 号  
H29. 9. 8

日間賀中学校長  
鈴木 康弘

## 2学期が始まりました。実り多き学期となりますように！

長い夏休みが終わり、2学期がスタートしました。

始業式の日に登校してきた生徒の顔から、それぞれが充実した夏休みを送ることができた様子がうかがえました。2学期は、夏休みに中に身に付けた力を発揮し、実り多き学期となるよう、生徒・職員ともにがんばっていきたいと思います。

2学期も引き続き、保護者の皆様には、様々な面から学校を支えていただきますよう、お願いします。

## 除草作業 9.5(火)

全校生徒と職員が協力して、運動場の除草を行いました。どの生徒もよく働いて、刈草の山がみるみる大きくなっていました。夏の間伸びた手ごわい草を相手に、みんなさわやかな表情で作業を終えることができました。

また、保護者の皆様にもご協力いただきました。ありがとうございました。



## 1年生イルカとのふれあい体験 9.7(木)

西浜において、1年生がイルカとのふれあい体験を行いました。今年度も、日間賀島観光協会と南知多ビーチランドのご協力をいただき実現することができました。恐る恐るイルカに触っていた生徒もいましたが、次第に慣れてきて、最後には笑顔でふれあっていました。貴重な体験の場となりました。ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。



# グラウンドゴルフ大会 9.1(金)

日間賀地区青少年を守る会主催のグラウンドゴルフ大会が開催されました。大人と子どもがペアを組んで、交互にボールを打ってホールポストに入れます。「ホールインワン」を決めた小学生と女性もみえるなど、レベルの高い大会となりました。午後のひとときを子どもと大人が一緒になって楽しむ、すてきな時間となりました。

大会の運営には、PTAやスポーツ推進委員など多くの方にご協力いただきました。また、多くの島民の方々にも参加していただきました。ありがとうございました。



## 平成29年度 2学期始業式 校長の話

長い夏休みが終わりました。夏休み中の生活はどうでしたか。1学期の終業式と、7月31日の全校出校日の時にも話しましたが、一つのことを毎日続けることができましたか。続けられたという人は、それが君たちの力になっているはずです。毎日続けることは、実はとても苦しいことなんです。その苦しいことを続けることに意味があります。その苦しさに打ち勝ったということは自信をもっていいことなのです。よくがんばりましたね。残念ながら続けることができなかった人、今日から、リスタートです。まず、9月1か月間続けてみましょう。

さて、今日から2学期が始まります。2学期は、島民体育祭や日中祭など、君たちの活躍する姿を島の方々に見てもらう行事があります。君たちのがんばる姿は、島の方々を元気にするはずですよ。自分のためにも、島のためにもがんばってほしいと思います。

また、行事だけでなく、普段の姿も見られています。これまで同様、「やるべきことはやる やった方がいいこともやる やっちゃいかんことはやらない やらん方がいいと思うこともやらない」を心がけて生活しましょう。1学期は、「やった方がいいこと」として履き物をそろえました。みんなが意識することで、いつでも履き物がそろっている気持ちのよい学校になりました。2学期は、それに加えて、「あいさつ」をしっかりしていきたいなと思います。気持ちのよいあいさつをするために心がけることは、「先に、大きな声で、相手を見て、笑顔で」です。この「先大見笑」を心がけて、気持ちのよいあいさつをしましょう。そして、それは、学校の中だけでなく、家で、さらに、学校への登下校の途中でもです。君たちの「先大見笑」のあいさつで、島の中を明るく元気にしましょう。

もう一つ、忘れてはならないものは、学習です。3年生は、卒業後の進路を決めるための大切な学期となります。3年生だけでなく、中学生の「やるべきこと やった方がいいこと」の一つは、学習に打ち込むことです。夏休みに身に付けた「毎日続ける力」を発揮するときです。一人一人の夢を叶えるためにも、しっかりと授業や家庭学習に取り組みましょう。

あいさつと学習、この二つが、2学期に、君たちに期待したいことです。日中生の「やる気」と「本気」を見せてほしいなと思います。実りある2学期にしましょう。